

中部経済産業記者会、愛知県政記者クラブ、  
瀬戸市記者会、豊田市政記者クラブ、  
豊田市政記者東クラブ 同時

平成 28 年 7 月 6 日 (水)  
あいち産業科学技術総合センター  
共同研究支援部シンクロトン光活用推進室  
担当 中西、加藤、野本、池口  
ダイヤルイン 0561-76-8315  
愛知県産業労働部産業科学技術課  
管理・調整グループ  
担当 青山、田口  
内線 3388、3381  
ダイヤルイン 052-954-6347

## シンクロトン光計測分析に関する講習会の参加者を募集します

### —シンクロトン光計測入門講習会—

「あいちシンクロトン光センター<sup>\*1</sup>」は、ナノテク研究に不可欠な最先端の計測分析施設で、「産業利用」を重視しています。

そうした中で、企業の皆様に、シンクロトン光を使った計測分析について理解を深め、研究開発や課題解決に活用していただくために、「シンクロトン光計測入門講習会」を開催します。

本講習会では、測定手法別に分けられた 8 本のビームライン<sup>\*2</sup>の紹介と、「あいちシンクロトン光センター」のビームラインと、隣接する「あいち産業科学技術総合センター」の分析機器<sup>\*3</sup>との相互活用によって得られた成果事例を紹介します。

本講習会終了後には、両センターの見学会も行いますので、多くの皆様の御参加をお待ちしています。

#### 1 日時

平成28年8月1日(月) 午後1時15分から午後4時15分まで

#### 2 場所

あいち産業科学技術総合センター 1階 講習会室

豊田市八草町秋合1267番1

(東部丘陵線リニモ「陶磁資料館南」駅 下車すぐ)

電話：0561-76-8315

※駐車場に限りがありますので、会場へは公共交通機関を利用してお越しください。

#### 3 主催等

主催：愛知県

共催：公益財団法人科学技術交流財団

愛知工研協会

## 4 内容

(1) 講演Ⅰ（午後1時20分から午後3時まで）

「あいちシンクロトロン光センター ビームラインの紹介」

- 化学状態・局所構造分析(BL5S1、BL6N1、BL1N2、BL7U)
- 結晶構造・薄膜構造分析(BL5S2、BL8S1、BL2S1)
- 分散状態・高次構造分析(BL8S3)

講師：あいちシンクロトロン光センター 各ビームライン担当者

(2) 講演Ⅱ（午後3時10分から午後3時50分まで）

「シンクロトロン光活用事例の紹介」

- オーステナイト系ステンレス鋼における加工誘起マルテンサイトの結晶相解析

講師：あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部

主任研究員 <sup>すぎもと たかのり</sup> 杉本 貴紀

- 抗菌ナノファイバー繊維の開発における銀状態の解析

講師：あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部

主任 <sup>ののもと とよかず</sup> 野本 豊和

(3) 見学会(希望者のみ)（午後3時50分から午後4時15分まで）

①あいち産業科学技術総合センター共同研究支援部(高度計測分析機器)

②あいちシンクロトロン光センター

## 5 参加費

無料

## 6 定員

100名（先着順）

## 7 申込方法

- ・技術開発に取り組む企業の方々を始め、どなたでも自由に参加できます。
- ・参加申込書に必要事項を記入の上、FAX、郵送又は電子メールでお申込みください。
- ・申込書はあいち産業科学技術総合センターのホームページ(<http://www.aichi-inst.jp/>)からダウンロードできます。

## 8 申込期限

平成28年7月27日（水）午後5時まで（必着）

※定員に達し次第締め切ります。定員超過の場合のみ、御連絡させていただきます。

※参加受付証は発行しません。

## 9 申込み及び問合せ先

あいち産業科学技術総合センター 共同研究支援部

シンクロトロン光活用推進室（担当：中西、加藤、野本、池口）

〒470-0356 豊田市八草町秋合1267番1

電話：0561-76-8315 FAX：0561-76-8317

E-mail：AIC0000001@chinokyoten.pref.aichi.jp

URL：<http://www.aichi-inst.jp/>

【用語説明】

用語	説明
<p>※1 あいちシンクロトロン光センター</p>	<p>(公財)科学技術交流財団が整備・運営する、ナノテク研究に不可欠な最先端の計測分析施設（平成25年3月オープン）。            産業利用を主目的とし、隣接する「あいち産業科学技術総合センター」（運営主体：愛知県）が備える高度計測分析機器との相互利用によって、地域企業の技術的な課題解決を支援する。            なお、シンクロトロン光とは、ほぼ光速で直進する電子が電磁石によって進行方向を変えられた際に発生する電磁波。非常に明るく（通常の計測装置の千倍から百万倍）、1台の装置でマイクロ波、赤外、可視、紫外からX線まで連続した波長の光を出すことができ、この光を利用して様々な計測・分析を行う。</p>
<p>※2 ビームライン</p>	<p>シンクロトロン光を用いて計測分析を行う測定装置。あいちシンクロトロン光センターでは、幅広い企業ニーズに対応するため測定手法別に合計8本を供用している。測定するもの（試料）に合わせたビームラインを利用することにより、多種多様な分析を、汎用機器と比較して短時間かつ高精度に行える。</p>
<p>※3 「あいち産業科学技術総合センター」の分析機器</p>	<p>あいち産業科学技術総合センターでは、企業の新技术・新製品開発への取組を支援するため、高度かつ汎用的な分析機器を整備している。            (分析機器の一例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走査型電子顕微鏡                細く絞った電子線を、走査しながら物質に照射し、放出された電子を測定することにより、物質表面の画像を観察することができる装置。2次元の結晶構造の分布や組成分布を解析することもできる。</li> <li>・ X線回折装置                X線を利用して結晶内部で原子がどのように配列しているかを解析し、物質の結晶構造を分析する装置。</li> <li>・ X線光電子分光装置                物質にX線を照射することによって放出された電子を解析し、物質表面の構成元素や化学結合状態を分析する装置。</li> </ul>